



～みんなかがやく 富田っ子～

富田っ子だより 第12号

富田小学校 学校通信
令和3年11月9日(火)



火災が起こった時どうしますか？ ～防災学習より～



【1年】



【3年】



【5年】

10月15日(金)、富田分団、サルビア分団、自主防災隊の皆さんにお越しいただき、火事等を想定した防災学習に取り組みました。

1年生は、防火や消火について知っておいてほしいことについてお話を聞いた後、火事で服に火がついた時の消火の仕方を教えていただきました。手で火を払おうとしたり、走り回ったりするのではなく、写真にあるように地面に横になってゴロゴロと転がった方が火を消しやすいことを教わりました。

3年生は、地震・防災クイズをしていただき、子どもたちが5人一組の班で相談して○×を赤白帽で答える楽しい活動となりました。子どもたちが飽きないようにと、班ごとに用意していただいた台紙にシールを貼ってもらい、大変盛り上がりしました。最後に、正解が1番多かった班に賞状が贈られました。

5年生は、消防車からの放水体験を行いました。火事はいつどこで起こるかわかりません。通報があると、たとえ夜中であろうと消防士や分団、自主防災隊の皆さんが迅速に火事現場に駆けつけます。その時間は7分程度ということを知ったことがあります。消防士さんが延焼拡大をくい止め、家事を鎮火させるために行う放水を体験させていただきました。

子どもたちには、こうした貴重な体験を通して、これまで学校で学んだ防災の学習とあわせてしっかり記憶に留めておいてほしいと思います。

この日は、第3回コミュニティ・スクール学校運営協議会を開き、委員の皆さんに防災学習の様子や普段の授業の様子をご覧いただきました。委員の皆様から、以下のような感想やご意見をいただきましたのでご紹介します。

<感想・意見>

- ・子どもたちが非常に落ち着いて学習をしている。算数少人数では、「わからないことがわかりたい、できるようにになりたい」という学習意欲がよく表れていた。素晴らしいと思った。
- ・今日見た算数少人数教育を進めていくには、教室の確保、人的な問題があるだろう。そういった学習環境を整えている富田小学校はとてもよいと思った。
- ・オンライン授業を終えて、学校へ行きだした子どもたちの様子は、とても明るくやはり学校へ行くことはいいことだと思っている。登校の様子を見ても子どもたちが生き生きとしている。富田小学校はカリキュラムの工夫もされており、大変信頼している。
- ・鯨船(富田丸)を昇降口においでいただき、4年生が鯨船学習を進めていると聞き、大変うれしく思う。富田地区の特長として、鯨船、石取祭り、田んぼがあるので、そこをぜひ子どもたちに学習してもらいたい。
- ・防災教室は、地域との関わりの中で実施しており、地域と子どもたちがふれあい、話を聞く場としてとてもいい。地域で子どもを育てたいという思いがよく伝わった。現在、消防団は団員数が減っている。自分も含め、ホースを持ったことがない子どもたちにはいい経験になっただろう。
- ・消火訓練について、とてもいい経験だとは思いますが、実際には今、地域で火事が起こったときはホースを出して消火にあたるのではなく、まず消防署通報、各家庭から消火器を持ち出し初期消火にあたることを目指している。水消火器の訓練はないのか？→3年生が毎年北消防署へ行って水消火器の訓練を体験している。
- ・今、十四川の掃除を地域でしている。昔は子どもたちも空き缶拾いや掃除をしていたように思う。そういったふるさとを大事にする気持ちを育てていきたい。



授業参観・PTA講演会 ～ご参加ありがとうございました～



10月22日（金）、授業参観並びにPTA講演会を行いました。今回も1学期同様に、校内での密を避けるため、地区ごとに参観時間を分けて実施させていただきました。お子様の学習の様子はいかがでしたでしょうか。

今回は、3年以上の学年で行っている算数の少人数授業や体育の他、音楽や書写など担任の授業以外の学習もご覧いただきました。

4年生は、学年の取り組みとしてこの富田地区の伝統行事である「くじら船」の学習発表会を学級ごとに行いました。ご覧いただいた多くの保護者から大きな拍手をいただきました。ありがとうございました。

また、午後にはPTA講演会を開催いただきました。例年、授業時間中に行っていたいでしたが、今年度はオンラインでの講演会となり、80名ほどの参加をいただきました。

当日は、四日市市こども未来課の田中繁先生を講師にお迎えして、「『ネットトラブルの現状』～考えること・守るべきこと～」と題し、ご講演いただきました。

具体的なトラブルとして、「グループトークで、悪口などの誹謗中傷を受けた」「LINE上に載せた画像から位置を特定され、自宅に押しかけられた」といった事例を紹介していただき、こうした被害にあわないために個人情報や誹謗中傷（悪口）は絶対に載せないことが大切であることを教えていただきました。ネットに載せてはいけない具体的な事柄を右に記しましたので、ぜひご家庭で話題にしていいただければと思います。

- ①家族や友だちの名前や住所
- ②学校名・学年・クラス
- ③電話番号・パスワード・ID
- ④自分や友だち、家族の顔写真
- ⑤人の心を傷つける言葉や行為

「くじら船」学習発表会【4年】

昨年度まで「地域の伝統行事」については3年生の社会の学習で扱っていましたが、学習指導要領の改訂に伴い、今年度から4年生での学習に変更されました。現4年生は、昨年度、富田地区「鯨船保存会」の皆様のご協力を得て、地域に保管されている鯨船の見学や鯨船祭りについての学習をしています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校にある「くじら船（富田丸）」を使って祭りを一部再現する学習には取り組むことができませんでした。



しかし、今年度から4年生に学習内容が移行したことにより、4年の先生方が「昨年度にはできなかった取り組みが何かできないか」「子どもたちの学びや頑張りを保護者や3年生に知ってもらいたい」と考え、「鯨船プロジェクト～届けたい 繋げたい～」を立ち上げ、学習発表会として計画しました。



富田地区「鯨船保存会」の皆様が何度も学校に足を運んでくださり、子どもたちに「役の動き」や「掛け声」などを丁寧に指導いただきました。子どもたちは、鯨船の様子をはり絵で表した壁面飾りを作ったり、威勢のよい掛け声を録音したり、ポスターセッションをしたりするなど、よく工夫して頑張ったと思います。

当日の発表は、学級ごとに体育館で行い、保護者にこれまで学んできたことを参観していただきました。以下に、子どもたちの感想を紹介します。

- ・発表する時はすごくきんちょうしたけど、終わった後はすごく気持ちよかったです。おうちの人にもがんばっているすがたを見せられてよかったです。
- ・おどり、たいこチームのみんなもすごくがんばっていたし、自分たちもがんばったと思います。プロジェクトはもりあがれたし、はく手をいっぱいもらってうれしかったです。
- ・3年生はとてもうれしい感想を言ってくれて、3年生にくじら船のことが伝わったんだな、と思いました。私は、3年生からがんばったことをよかったなあとと思いました。こう思えるのは、加藤さんや伊藤さんや私たちをささえて、教えてくれた人たちのおかげだと思いました。

【新型コロナウイルス感染症への対応について】

＜これまでと同様の対応をお願いします＞

○同居家族に発熱等の症状が見られる場合 ⇒（児童が元気でも）登校を控える。

＜新たな対応を行います。＞

○登校後、体調を崩し発熱等の症状が見られた場合

【発熱等の症状が見られる児童】⇒ 学校から保護者に連絡し、お迎えに来ていただきます。

※これまででは上記のきょうだいに発熱等の症状が見られない場合でもきょうだい全員を早退としていましたが、今後は保護者と相談させていただいた上で早退の有無を決めさせていただきます。